

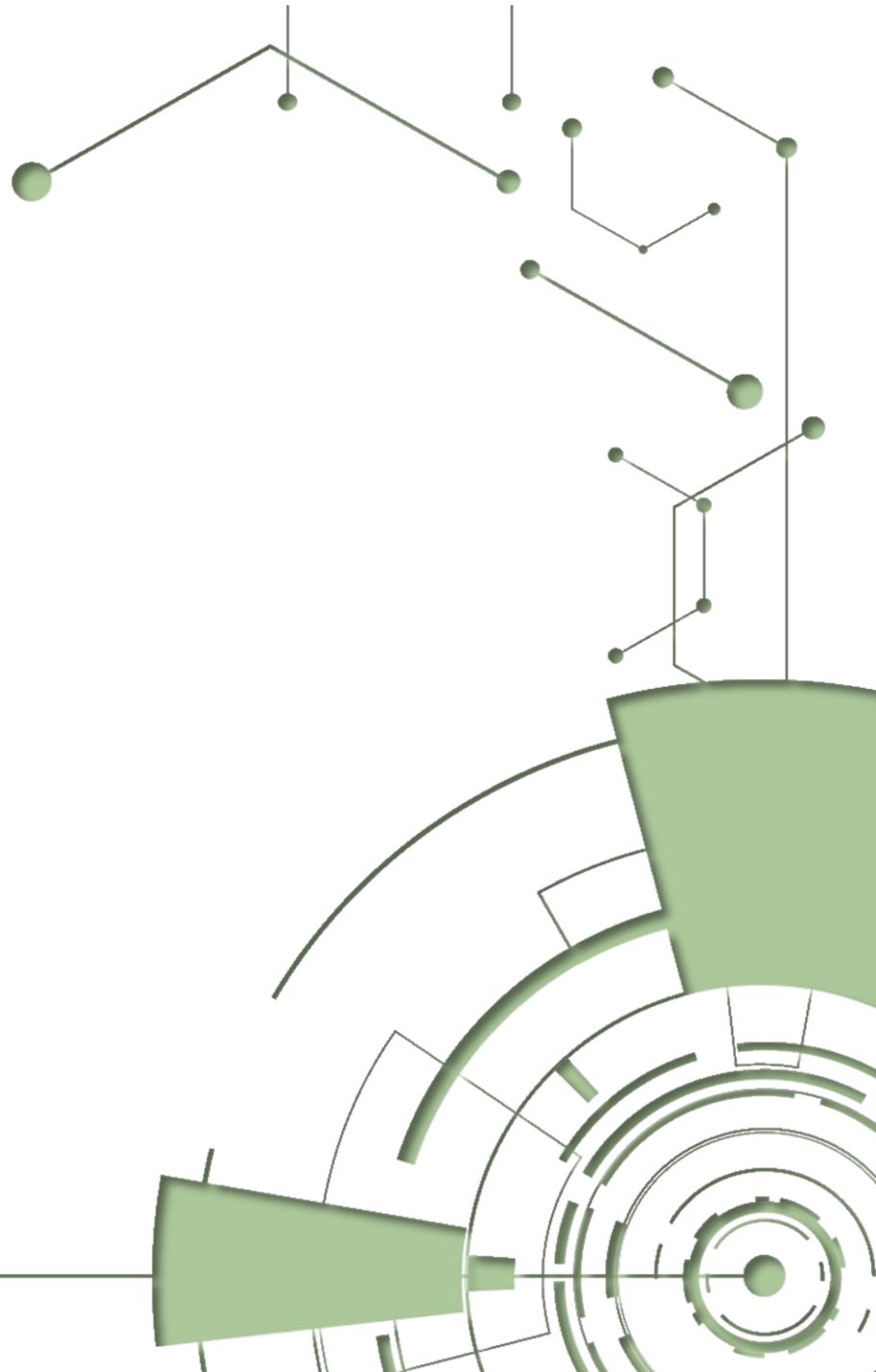


証券コード：3997

株式会社トレードワークス

# 2021年12月期 第2四半期 決算説明資料

2021年8月6日



1. 2021年12月期 第2四半期 概況
2. 事業環境認識、当社の取り組み
3. 2021年12月期 業績予想
4. 参考資料

# 1. 2021年12月期 第2四半期 概況

# ● 2021年12月期 第2四半期 業績サマリー



売上高

**1,078**百万円

(前年同期比25.3%増)

営業利益

**80**百万円

(前年同期▲85百万円)

四半期純利益

**45**百万円

(前年同期▲59百万円)

## ポイント

- 売上、利益は計画通り進捗し、前年同期比25%超の増収、利益は前年同期営業損失から営業黒字に転換
- プロジェクトマネジメント力が高まり、原価コントロールが進展し、利益率は向上
- 特別損失として当社提供システムへの不正アクセスに伴う調査費用が発生
- 金融システムのノウハウを生かした新領域への展開としてクラウドECプラットフォーム「Emerald Blue」を開発

# ● 2021年12月期 第2四半期 業績ハイライト



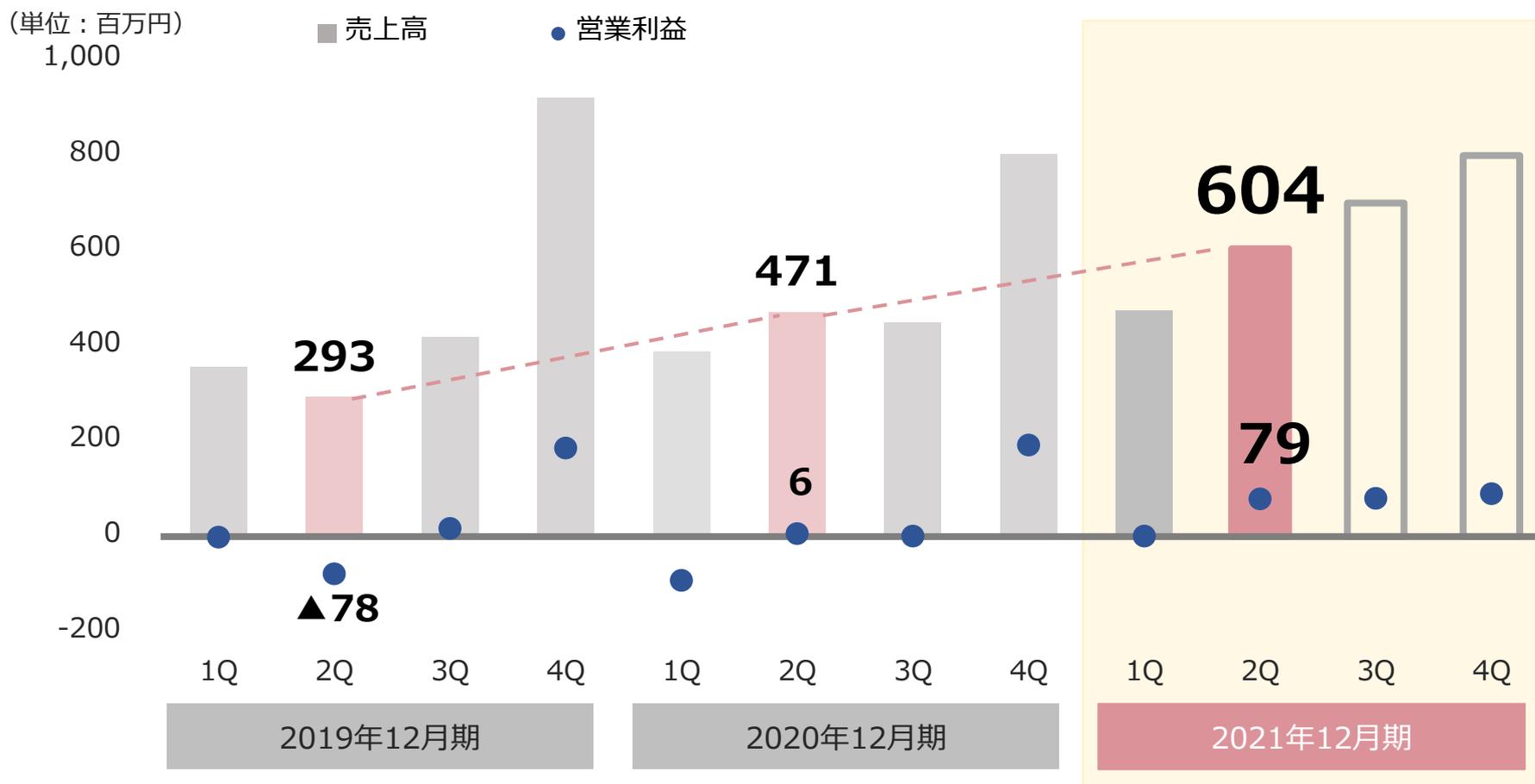
前年同期比、25.3%の増収。各段階利益は期初計画通りの進捗。

(単位：百万円)		2020.12期 2Q		2021.12期 2Q		増減額	前年 同期比	2021.12期 予想	達成率
売上高		861		<b>1,078</b>		217	25.3%	2,500	43.1%
原価	原価率	730	84.8%	<b>814</b>	<b>75.5%</b>	83	11.5%	—	—
売上総利益		130		<b>264</b>		133	103.0%	—	—
販管費	販管費率	216	25.1%	<b>184</b>	<b>17.0%</b>	▲32	▲14.8%	—	—
営業利益	利益率	▲85		<b>80</b>	<b>7.4%</b>	165		230	34.7%
経常利益	利益率	▲84		<b>80</b>	<b>7.4%</b>	165		230	34.7%
四半期純利益	利益率	▲59		<b>45</b>	<b>4.2%</b>	105		160	28.1%

# ● 売上高・営業利益（四半期推移）



第2Qまでの各四半期において、前年同期を上回り進捗。

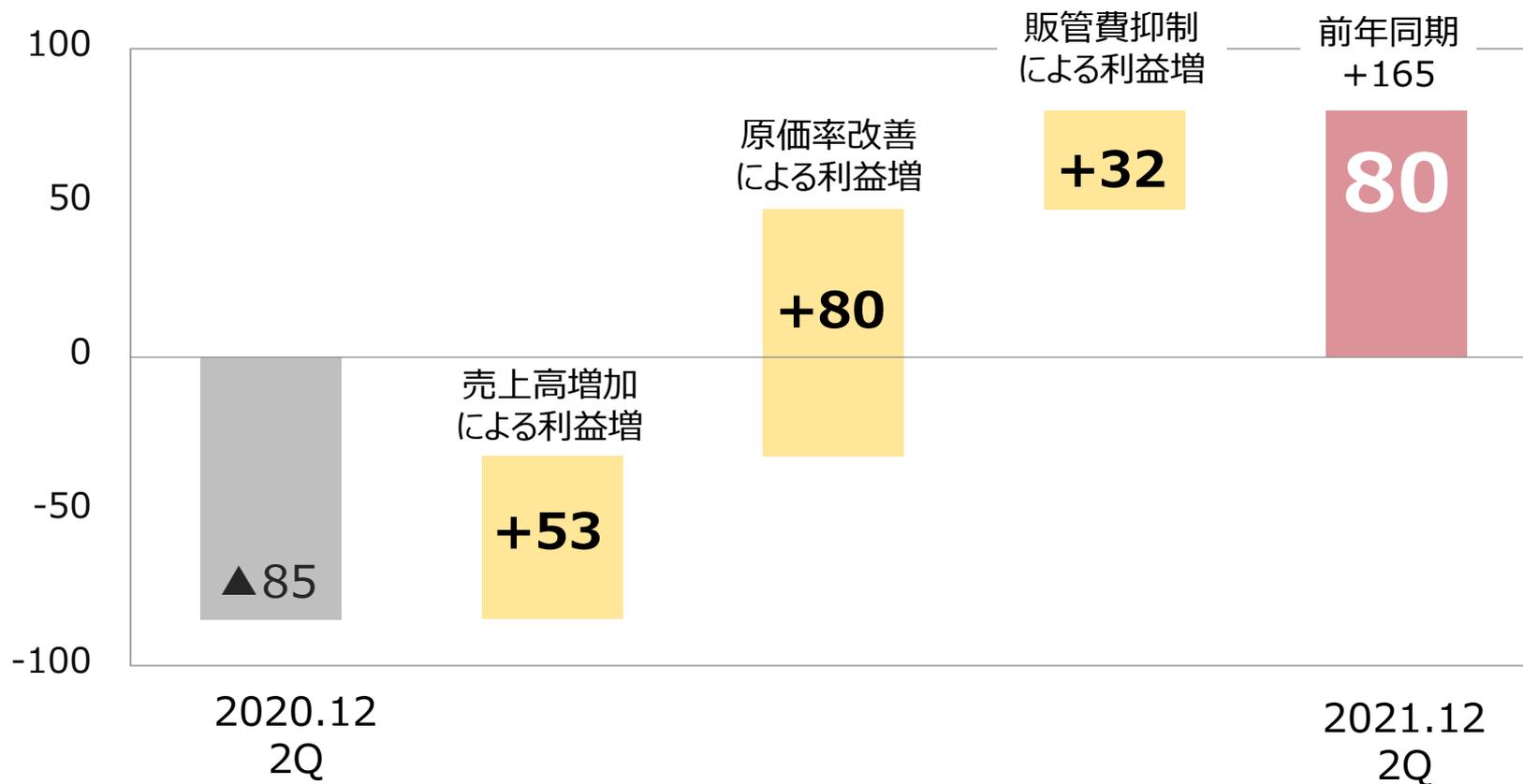


# ● 営業利益増加要因



増収効果、原価コントロール、販売管理費抑制が寄与し、  
前年同期比で、165百万円営業利益が上昇

(単位：百万円)



# ● 貸借対照表



(単位：百万円)

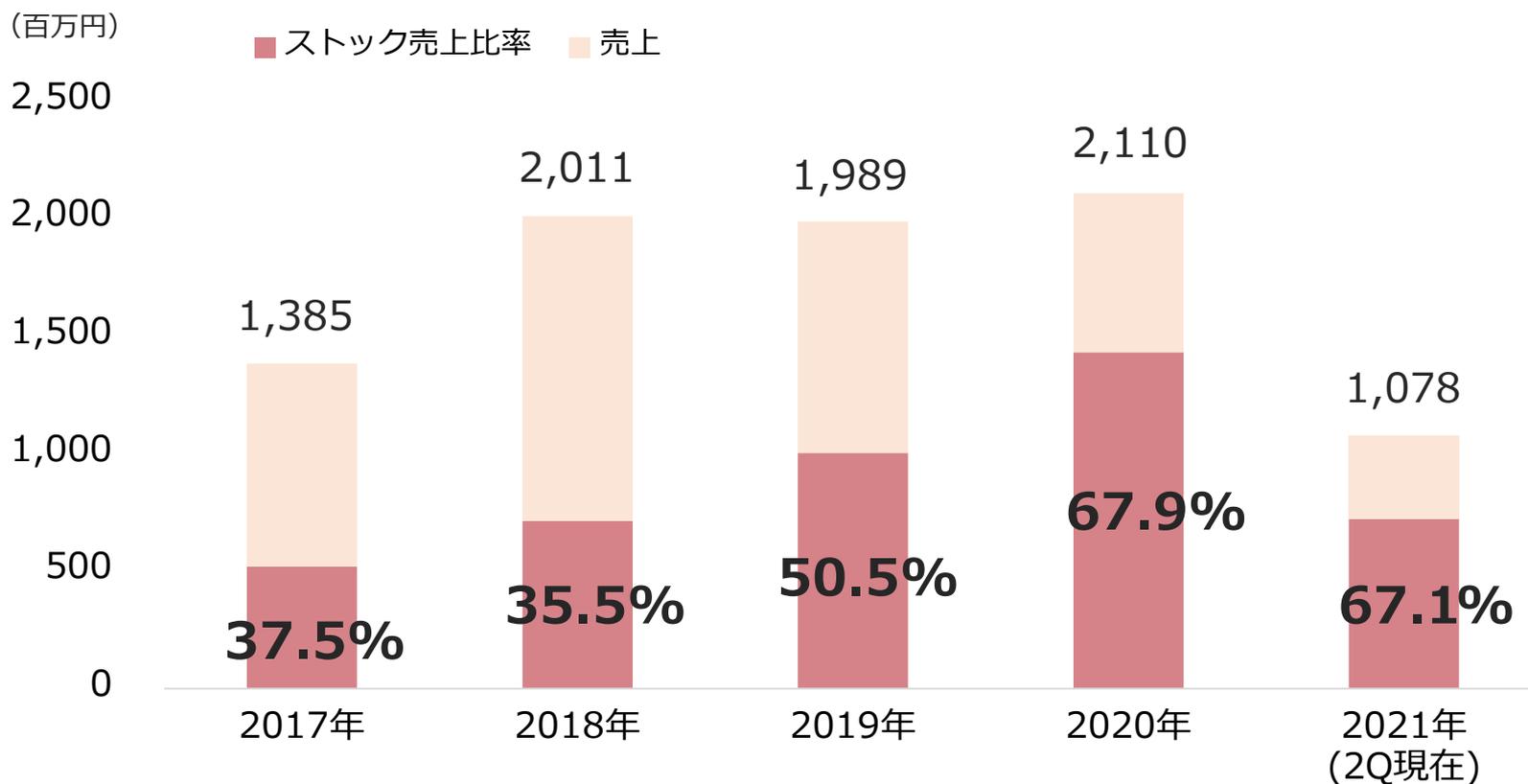
	2020.12期	2021.12期 2Q	増減額
<b>流動資産</b>	1,241	<b>1,289</b>	47
現金及び 預金	835	895	59
売掛金	334	237	▲97
<b>固定資産</b>	566	<b>550</b>	▲15
有形 固定資産	92	95	3
無形 固定資産	282	257	▲25
投資その他 の資産	191	197	6
<b>資産合計</b>	1,807	<b>1,839</b>	31

	2020.12期	2021.12期 2Q	増減額
<b>流動負債</b>	206	<b>199</b>	▲6
買掛金	81	102	21
未払法人税	27	29	2
<b>固定負債</b>	71	<b>75</b>	3
<b>純資産合計</b>	1,529	<b>1,563</b>	34
<b>負債・純資産 合計</b>	1,807	<b>1,839</b>	31

# ● ストック売上比率



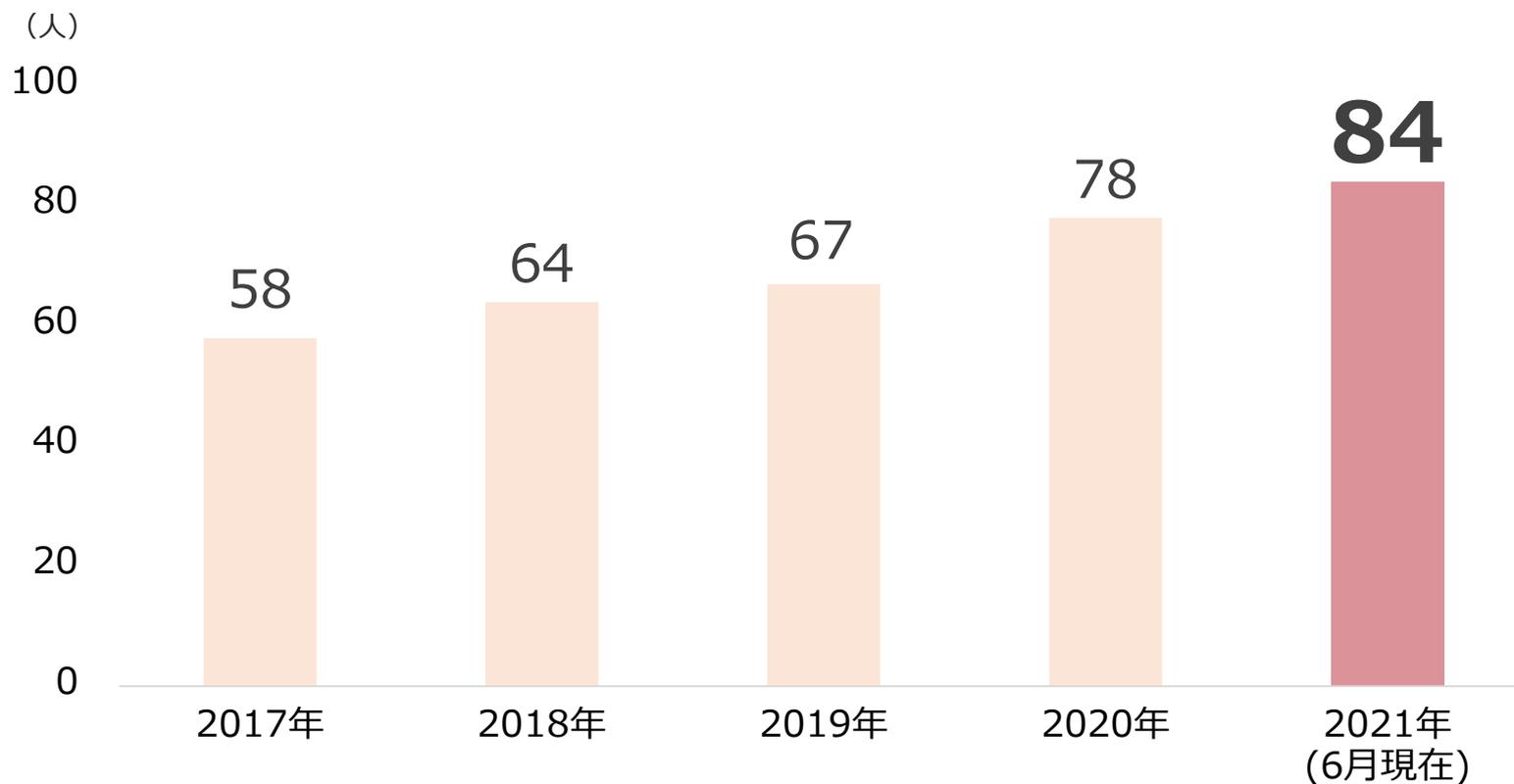
## ストック型ビジネスモデルへの転換が順調に進捗し、売上の3分の2を達成



# ● エンジニア数推移



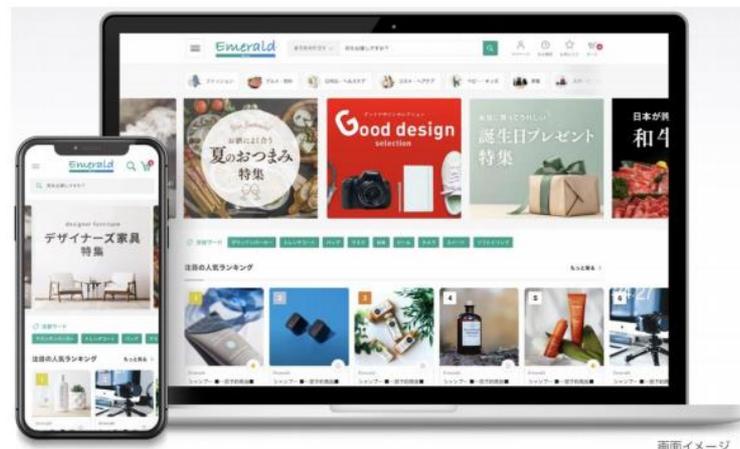
大型プロジェクトにも対応できる人材に育成を進めた結果、  
エンジニア数が2017年の上場時から約1.5倍増加し、体制強化も順調に進捗



# 理想のECサイトをクラウド上で構築が可能、 ASPとECパッケージの両方のニーズに対応する クラウドECプラットフォーム「Emerald Blue」

## 「Emerald Blue」の機能

- インターネットによりアクセスするクラウド環境でECサイト構築～運営が可能。
- ECプラットフォームを事業者様で持たず、当プラットフォームをご利用いただくことでサイトオープンを素早く、低コストでのサービス提供が可能。
- 常に最新機能のシステムに自動でアップデートが可能となり、独立ショップ型、ショッピングモール型のどちらにも対応。
- 基本機能に加えて柔軟な機能追加、カスタマイズ、他社パッケージからのデータ移行が可能となり、ECサイトの構築及び運営をワンストップで支援可能。



画面イメージ

今後、益々高まる電子商取引へのニーズに「あたらしいお買い物の価値」を提案できるよう、当社は当プラットフォームの継続的な機能追加、及びプラットフォームを活用した事業展開を行ってまいります。

## 2. 事業環境認識・当社の取り組み

## 当社の主軸である金融・証券業界の IT投資意欲は、コロナ禍においても旺盛

新型コロナウイルス感染症拡大の中、市場資金等の流入により、金融取引市場は活況



① **フィンテックによる金融業界新規参入業者の増加**



② **5G通信の商用サービス国内4キャリアでスタート**



③ **金融システムのセキュリティに関する事案の増加**



④ **証券会社システム強化への機運の兆し**

## 成長戦略の更なる推進

- ビジネスモデル改革によりストックモデルの導入を強化
- データセンターなど戦略投資の継続
- 主軸事業の深耕、領域の拡大
- 新領域への進出、事業確立
- 働き方改革、人手不足解消など生産性向上策といった高需要領域進出
- ニューノーマル時代への戦略強化

## 収益性UPへの取り組みを強化

- プロジェクトマネジメント力の更なる強化
- 金融知識を有するエンジニア、自社開発力を強化
- 人材獲得、金融知識・技術教育の充実、強化
- 顧客資産、技術情報連携体制の強化、確立

**当期の業績達成への取り組みに加え、中期的な飛躍に向け、施策を着実に実行。**

# ● 2021年12月期の施策のうち第2Qまでの実施事項



## ① プロジェクト管理を徹底

原価コントロールが進展し、利益率が向上



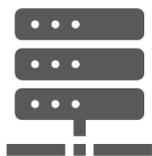
## ② 既存顧客への営業活動強化

対面営業が難しい反面、オンラインミーティングを活発にできる  
既存の金融関連企業に積極的な営業活動を展開



## ③ 人材の育成

大型プロジェクトにも対応できる人材の育成に注力



## ④ データセンター増強など戦略的投資を継続

ストック型ビジネスモデルへの転換が既存顧客の3分の2を達成



## ⑤ 新サービスへの取り組み

金融システムのノウハウを生かし、ECなど新領域に展開

## 持続的な成長を目指し、2つの戦略を実施

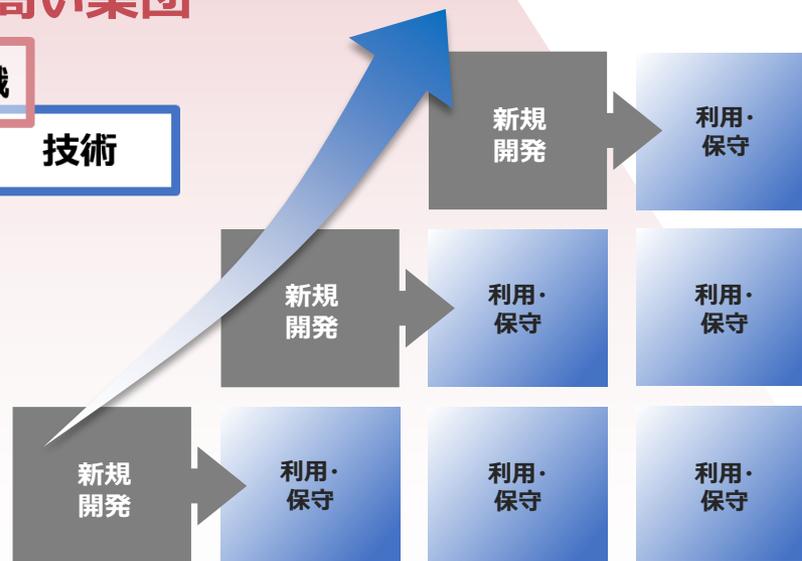
技術と金融知識を持ち合わせた  
専門性の高い集団

金融知識

技術

金融・金融周辺領域

その他新領域



主軸領域の深耕と新領域への進出

### 事業領域拡大



利用型・ストック型ビジネスモデル比率のUP

### ビジネスモデル転換

## 2つの戦略を継続して実施し、規模、収益力を拡大

### 3. 2021年12月期 業績予想

前期スライド案件があるものの18%の増収、  
利益は約2倍増を計画。

(単位：百万円)

項目	2019.12期	2020.12期	2021.12期 (予)	増減額	前期比
売上高	1,989	2,110	<b>2,500</b>	390	118.4%
営業利益	124	107	<b>230</b>	123	214.4%
経常利益	125	107	<b>230</b>	123	213.0%
当期純利益	89	73	<b>160</b>	87	218.2%

**経営基盤の強化を最優先し、  
将来の事業展開と内部留保とのバランスを考慮し、  
利益配分を実施**

**5円増配の1株当たり10円を予定**

項目	2019.12期	2020.12期	2021.12期 (予)
配当金 (1株)	5円	5円	10円

## 4. 參考資料

## 技術と金融知識を持ち合わせた 専門性の高い集団

技術



金融知識

- 最新テクノロジー
- AI
- RPA
- Fintech
- クラウド
- ビッグデータ
- バーチャルリアリティ
- 音声認識

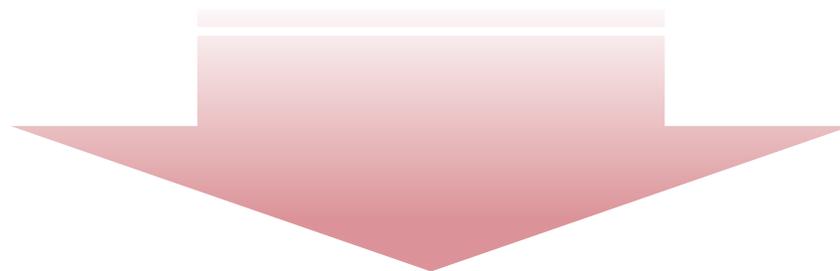


- 株式
- FX・CFD
- 仮想通貨
- 投資信託
- 保険
- 年金

## ビジネスモデル改革を進め

- ① 予期せぬ不採算案件の発生
- ② 製品及びサービスへの品質・価格に対する顧客からの要請
- ③ 同業他社との競争激化

に準備、対処し収益性向上を図ります。



**技術者育成＋環境整備**  
**全社横断 品質・生産性向上**

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社トレードワークス  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105  
神保町三井ビルディング9F  
TEL :03-5259-6611 FAX:03-5259-6612  
<https://www.tworks.co.jp/>